

平成二十九年 論語に学ぶ人間学セミナー

好評を受けて今年で九年目に入った論語セミナー。昨年も使用していた「仮名論語」に加え、「図解論語 正直者がバカを見ない生き方（齋藤孝著）」をテキストに学んでおります。後半の講義は、憲法について学ぶセミナーとして十二月までの講座となっています。いつからでも参加できますので、龍野商工会議所のHPや本誌折込みチラシにて申し込みください。

人間学セミナーも今年度6回目となります。はじめは仮名論語の素読となります。参加者全員が姿勢を正し、朗読していきます。会場全体がピシッと引き締まった雰囲気となり、学びの姿勢を体感できます。三木英一先生からも、『よく声が揃っていますね』とお言葉をいただきました。

■仮名論語 雍也第六

しのたま ちゅうどう はい いまなんじ かぎ
子曰わく、力足らざる者は中道にして廃す。今汝は晝れり。

先師(孔子)が言われた。「力が足りないかどうかは、力の限り努力してみなければ分からない。力の足りない者は途中で倒れるまでのことだ。今お前(弟子に対して)は、はじめから見切りをつけてやろうとしない。それではどうにも仕方がない」

自分自身に限界を作ってしまうのは、努力をしない言い訳になってしまいます。普段の自分自身にも、当てはまる感じが致します。見直すきっかけにしたいと感じました。今回の雍也第六には、他にも有名な言葉が数多く出てまいりました。

■「図解論語 正直者がバカを見ない生き方」(齋藤 孝著)

第三章 学び編 (その二) 「正しい理解」「正しい楽しみ方」「正しい努力」

これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず。

本日、素読した雍也第六に出てくる言葉で、学ぶにおいて、知っているというのは好むには及ばない。学問を好む者は、学問を楽しむ者には及ばない。物事に対して興味を持つことや楽しむことが重要だと理解しました。『知好楽』という言葉を選び、三木先生からは、更に進んだ『遊』という文字を加えた、『知好楽遊』の面白いエピソードを聞かせて頂きました。

■講話 「自衛隊」

現在の法律下・状況下での自衛隊の存在意義を、新聞や雑誌等の記事等を読みながら考えました。憲法改正に関して、当然、自衛隊をどう表現するかは非常に重要なポイントになり、諸外国の注目している点でもあります。自分自身、日本国民としてしっかり考えなければなりません。

人間学セミナーは自身を磨く為の良い機会になると思います。皆様のご参加お待ちしております。

次回 第七回は、九月十三日(水)午後六時三十分からです。